

Navigator

モデルベースのレビューとコラボレーションを実現するソフトウェア

3D モデルのレビューによる問題解決

Navigator を使用することで、プロジェクトのリスクを抑えながら、プロジェクトのライフサイクル全体での確かな意思決定をスピーディに行うことができます。3D モデルを使って情報を明確に把握し、プロジェクトの内容や運用状況を正確に判断できます。オフィスでも現場でも、どのデバイスを使っても一貫した操作方法で最新情報にいつでもアクセスできるようにすることで、プロジェクトデリバリーを迅速化します。また、現場スタッフから寄せられるフィードバックを迅速かつ確実に集めることができるため、プロジェクトチームの連携を高め、コラボレーションを促進します。

Navigator により、設計、建設、運用の各段階で関係者が連携して作業を進め、承認プロセスを速めることができます。設計段階では、クラッシュ検出*を実行する機能によって部門間での調整を確実に進めることができ、迅速な問題解決が可能になります。建設段階では、建設シミュレーションを実施してオフィスと現場のコラボレーションを促進し、プロジェクトの計画と遂行状況に関する情報を正確に把握することで、現場で見つかった問題を迅速に解決することができます。運用段階では、3D モデルのコンテキスト内で資産情報を確認できる機能を利用して、検査とメンテナンスの安全性と効率性を改善できます。

モデリングと文書作成の統合ワークフロー

CONNECT Edition は包括的なプロジェクトデリバリーのための共通環境を提供し、ユーザー、プロジェクト、企業の連携を確立します。CONNECT Edition は、学習コンテンツ、コミュニティ、プロジェクト情報にアクセスするための個人用ポータルとなります。また、i-model や PDF などの個人ファイルを、デスクトップから他のユーザーと直接共有したり、Navigator Mobile をインストールしたモバイル

"ライフサイクル BIM を発展させるうえで、インフォメーションモビリティは非常に重要です。Bentley の新しい Navigator を利用することで、さまざまなデバイスのアクセスに対応する 1 セットの i-model を迅速に発行することができます。"

— CH2M HILL、Rob Brawn 氏



モデルベースのレビュー作業が大幅に進化し、従来以上に豊富な情報が得られるため、オフィスと現場のライフサイクル全体での確かな意思決定を下すことが可能。

ル次の行に送るデバイスから簡単にアクセスできるように設定したりできます。プロジェクトチームでは、新しいプロジェクトポータルを利用してプロジェクトの詳細情報や状況をチェックし、プロジェクトパフォーマンスを詳細に把握することができます。さらに CONNECT Edition では、Project Performance Dashboards や Issues Resolution Services などを含む新しい ProjectWise® Connection Services を利用することもできます。

明確なプロジェクト情報の把握

現場で Navigator を利用することで、調整不足による潜在的な問題を建設の開始前にプロジェクト全体で明確に把握できるため、多大な損害が発生するリスクを減らすことができます。このような情報把握は、モデルベース情報をわかりやすく視覚化できる Navigator の機能により実現されています。たとえば、没入感のある仮想映像によって設計をレビューして理解したり、モデルのコンテキスト内で重要な設計情報を探したり、モデル内の複雑な関係性を短時間で完全に解析し、理解することができます。Navigator の機能は以下のとおりです。

没入感のあるモデル操作

3D モデル内を直感的に移動したり、モデルを操作したりできます。仮想ウォークスルーを実行できるだけでなく、没入型のインターフェースでモデルを探索し、埋め込まれたプロパティデータを調べることができます。

*Windows バージョンのみ対応

Bentley Navigator のシステム要件

CPU :
Intel® または AMD® 64 ビット
プロセッサ (1.0 GHz 以上)

OS :
Windows 8.1 (64 ビット)、
Windows 7 (64 ビット)

メモリ :
1GB (2GB を推奨)

ハードディスク空き容量 :
500MB 以上

グラフィック :
DirectX 9.0c でサポートされる
グラフィックスカード。
256MB 以上のビデオ専用 RAM を
推奨。
色深度は 24 ビット以上に設定。

画面解像度 :
1024 x 768 以上

Navigator Mobile のシステム要件

iOS :
iOS 8.0 以降
iPad 対応

Android :
Android 4.1.1 以降
タブレットデバイス対応

株式会社ベントレー・システムズ

〒171-0022
東京都豊島区南池袋 1-13-23
池袋 YS ビル 8F

TEL 03-5992-7770
FAX 03-5992-7744
www.bentley.com

モデル情報のクエリ

プロパティデータや幾何学的条件に基づいて、モデルの検索・フィルタ処理が行えます。モデル要素に加え、モデルに埋め込まれたプロパティやリンクされた情報も簡単に探すことができます。

ビジュアルレポートの作成

埋め込まれたプロパティに対するクエリを使って、特定のテーマによるモデル表示を作成できます。モデルとその関連プロジェクト情報を、わかりやすくビジュアル化することができます。

調整レビューの実施

調整不足によるミスを検出し、プロジェクトチームに注意を喚起することができます。部門間でのクラッシュが発生していないかどうかチェックし、寸法が適切であるかどうかを検証できます。*

プロジェクトデリバリの迅速化

最新情報を必要なときに必要な場所で入手できれば、業務の生産性は向上します。設計、建設、運用に携わるすべての関係者が、時間や場所を選ばずに好みのデバイスを使って最新のプロジェクト情報を簡単に探し、アクセスすることができます。オフィスでも現場でも同じように使える Navigator があるからこそ、それが実現します。Navigator には次の特徴があります。

タッチ操作

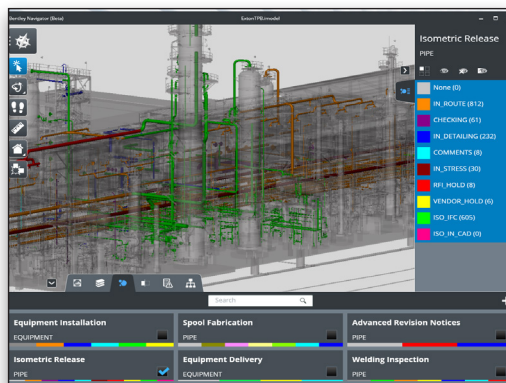
タブレットや大画面タッチ対応デバイスでは、タッチインターフェースを使ってモデルを操作できます。回転、拡大、縮小、パンなど、一般的なタッチ操作に対応します。

さまざまなデバイスに対応

Windows、iOS、Android の各 OS が動作する PC、タブレット、その他のハイブリッドデバイスがサポートされているため、さまざまなデバイスを使ってプロジェクト情報にアクセスできます。

図面、書類、モデルへのアクセス

あらゆる種類の関連図面や関連文書を参照しながら、3D モデルのレビュー、操作、マークアップを行うことができます。



モデル情報をわかりやすく把握できるビジュアルレポートを作成可能。

"プロジェクトの関係者を含めたプロジェクトチーム全員がいつでもモデルにアクセスできることで、設計から建設までのプロセスが円滑化され、プロジェクトの価値を大きく高めることができました。"

— SpawGlass Contractors、Swapna Biju 氏

プロジェクトリスクの軽減

プロジェクトマネージャがプロジェクトリスクを追跡してその対策を講じるには、迅速に問題点を特定し、それをプロジェクトチーム全体に伝える必要があります。Navigator を利用することで、プロジェクトの関係者全員が情報モデルのコンテキスト内で情報を確実に交換できるため、マークアップを作成したり、オブジェクトの関係性に関する情報をモデルに追加したり、該当する関係者とフィードバックを共有したりできるようになります。それを可能にするのが、ネットワーク対応のコラボレーションワークフローです。このワークフローによって次の効果が得られます。

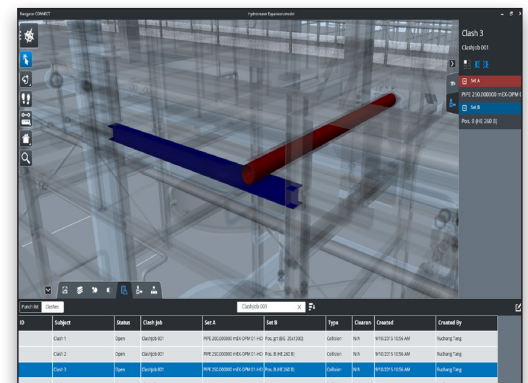
問題の解決

プロジェクトチームのメンバーがパンチリストなどのフォーム、クラウドサービス、自動ワークフローを使って問題を発見し、スムーズかつ確実に解決できます。

ProjectWise などのリポジトリへの接続

ProjectWise と統合されているため、モデルや関連ファイルに安全にアクセスでき、共有プロジェクト情報の最新版を確実に取得できます。

ネットワーク接続の有無に関係なく使用可能
オフィスでも現場でも同じアプリケーションを使用でき、時間があるときに同期しておくことで、ネットワーク接続がない場所でもモデルや関連文書を扱うことができます。



多分野モデルの調整レビューを実施することで、大幅なコスト増につながりかねないクラッシュを事前に検出して解決可能。